

郵便はがき



〒四二六〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
Tel 〇五四六四一〇二二九
Fax 〇五四六四四一六二二六

平成28年 星除け祈禱受付中
● 厄年除け（数え年）

・ 男 25才、42才、61才

・ 女 19才、33才、37才、61才

● 星除け 28年 星まわりの悪い人

● 八方塞がり除け 28年 二黒土星の人

昭和10年、19年、28年、37年、46年

55年、平成元年、10年、平成19年生

● 家内安全 進学成就 身体健全 交通安全等
× 切りは2月3日迄。

古いお札を納めましょう 2月3日まで

古いお札を納める箱を本堂前に設置してあります。また、ご遠方の方はご郵送頂ければ、お寺で納めます。

藤枝市の関根薫様、静岡市の築地恵子様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。篤くお礼申し上げ、法話箋作りの資とさせていただきます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申込はお寺まで。

手を合わせる事が自然になるように

平成28年度の新春を迎え、今年も宜しくお願い申し上げる次第。

昨年はテレビで「ぶつちやけ寺」や神社のお参りの仕方等々、神社仏閣関連の放送が目をつけた。1回だけの特別番組と思いきや、何回も続いた。視聴率、採算性に敏感なテレビ局が、よく続けると関心を寄せていた。

「ぶつちやけ寺」という番組は元々、深夜時間帯で、ネット局も少ない細々とした番組であった。それが突如ゴールデンタイムに移ったのである。少なくとも需要があるからだろうということに興味を感じた。

ざつくり言えば、戦後教育での宗教への批判姿勢、無宗教こそ文化人というへんてこな価値観、近くはオーム真理教等のカルトの気味悪さからも時間と共に解放され、もう一度古来から続く宗教を素直に見つめ直してみようという新しい感覚の人たちが増えてきたのではないかと考えている。

お笑いタレントの中にも、偏りの無い熱心



な仏教信奉者がいて、様々な番組で、真面目に語っている姿を見る時、世の中確実に変化しているなあと感じる。これは言うまでもなく良い意味である。押しつけの教育ではなく、個々が成熟してきて、自分で物事を見極め、何が大切かを探し出そうとする雰囲気がある。これは、最近大慶寺に集まる藤縁やおかげさまの若い人たちを見ていても感じることである。

戦後社会の核家族は、個性、自由の獲得という点では十分に役割を果たしたが、人と人、人と社会、人と地域、人と自然との関係では返って弊害となった感がある。

太陽、空気、水、土等の自然の恵みで、動物、植物などの生命が作り出される。そうした恩恵や、人は寄り添って生きていることを忘れさせる社会となった。即ち薄縁社会である。

人にとつては実は縁こそ大切なのだ。自然、神仏への畏敬の念、感謝、思いやりが見直されつつある。手を合わせることの大切さを日常生活で出来るようにしたい。